

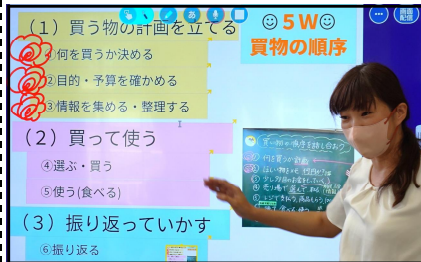
第5学年家庭科「かしこく選んで買物上手 ～考えよう 物やお金の使い方～」

学習指導者 山本 千穂

諦めずに試行錯誤しながら課題解決に取り組めるように、自分の生活を振り返ったり友達のことを知ったりするという方法を習得させました。「生活にカエルカード」で、生活経験を想起したり生活場面につないだりしました。また、自分の最初の考えと、友達と相談したり生活を想起したりしながら再考した後の考えを「ファースト・ラストアイデアカード」で比較できるようにしました。

自分の買いたいノートを決めよう

【見通し】

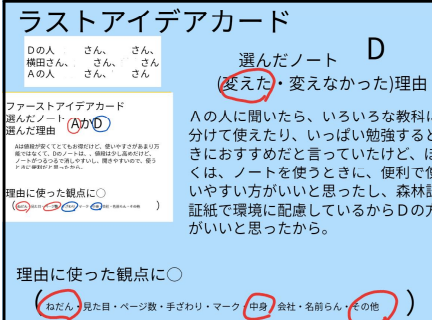


4月に考えた「家庭科の学習を通してなりたい自分」の掲示から買物の学習をする意義を、題材計画からは題材のゴールや既習事項を振り返りました。自分たちで考えた計画を見ながら「今日はいよいよノートを選ぶぞ」と本時の学習への意欲を高めました。

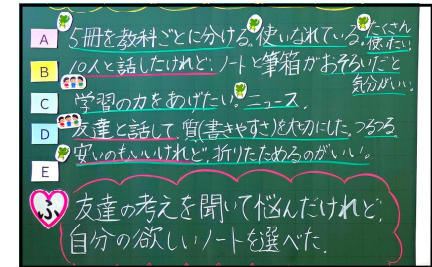
【行動】



子供たちは、学習支援アプリを使って、買いたいノートと理由(迷っている場合はその理由)を「ファーストアイデアカード」にまとめました。アプリ上で全員のカードを見られるようにすることで、交流したい相手を選んで交流に行き、交流を通して新しい視点を得たり、自分の生活の中での使用場面を改めて考えたりしながら、自分の買うノートを再考する姿が見られました。再考後の考えを「ラストアイデアカード」にまとめて「ファーストアイデアカード」と比べ、自分の考えが深まったことを感じられるようにしました。



【振り返り】



ノートを選んだ理由を「生活を振り返って」「友達と交流して」の観点で整理しながら全体で交流する場を設定しました。その後振り返りを書き、友達の考えを知ることのよさや、自分の生活から考えることの大切さなど、習得した方法のよさを価値付けました。

成果と課題

○「選んだノートを実際買って使う」という題材構成だったため、子供たちはより自分事として考えることができ、自分に合ったノートを選ぶことができた。子供たちが納得して買いたいノートが選べた。  
 ▲交流場面で、実生活を意識した発言があまり見られなかった。「生活にカエルカード」をもっと意識させる手立てや、子供たちがもっと相手の選んだ理由を深く訊きあっているように交流の仕方を身に付けさせる指導が必要である。